

## 韓国地質資源研究院との研究協力協定を締結

産総研と韓国地質資源研究院(KIGAM)は、昨年12月17日(月)研究協力協定に調印しました。調印式は、韓国大田廣域市にあるKIGAMにおいて、Young-Hoon KWAK KIGAM院長、宮本宏国際部門長の列席のもと、協定文書の調印を行いました。調印後、KWAK院長より「国際協力の重要なパートナーであるNew AISTと協力協定を締結することは、将来の研究協力につながるものとして高く評価している」旨の挨拶がありました。

KIGAMは、韓国地質調査所を前身として、国内・外の地質調査を通じた貢

献、地球科学情報および資源情報の政府、産業界、公共への提供を主たる目的として設立されました。産総研としてはこれまで、旧地質調査所が、主に地下資源、地球物理、海洋など、旧資源環境技術総合研究所は環境分野等において各々別個にKIGAMと研究協力協定を締結した上で共同研究を行ってきましたが、この度、New AISTとして単一の包括的協力協定を締

結することになりました。本協力協定のもと、さらなる研究協力の進展が期待されています。



## ノルウェー王国通商産業省 Oluf Ulseth 政務次官来訪

ノルウェー王国の通商産業省政務次官Oluf Ulseth氏とOdd Fosseidbråten 在日大使が1月16日(水)、つくばセンターに来訪されました。

次官らは、「次世代光工学研究ラボ」、「環境調和技術研究部門」、「新炭素系材料開発研究センター」の各研究室で、スーパーレンズ、クリーン燃料、および

カーボンナノチューブの大量合成とその応用技術等について、説明を受けられました。

また、平石副理事長との会談の中で、ノルウェー王国は産総研を研究協力のパートナーとして重要視しているとの談話がありました。



## 九州センター研究講演会

九州センター主催による研究講演会が、2月6日(水)博多サンヒルズホテルにおいて、産業界・大学・官公庁等から延べ150名を越える多数の出席を得て開催されました。本年度は「安全・持続社会を目指す先端技術～マイクロ・ナノ空間テクノロジー&環境～」をテーマとし、九州大学から前田瑞夫教

授を招いて「ナノ化学デバイスを目指したDNAコンジュゲート材料の研究」と題しての特別講演を、九州センターからは4件の講演が行われました。各講演では活発な質疑応答が行われ、九州センターの実施する、この分野の研究に関する各界からの期待の大きさが伺われました。

